

美術館運営方針及び事業概要について

1 美術館運営方針

(1) 基本理念

当地出身で日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉の顕彰、子供たちを始め幅広い世代へ向けた教育事業、まちづくりの拠点施設としての役割という柱のもと、美術に関わる情報を発信し、生活の豊かさや心のゆとりをもたらす場として、市民に親しまれる美術館を目指します。

(2) 基本的性格

ア 日本近代工芸の先駆者のひとりであった藤井達吉を顕彰します。

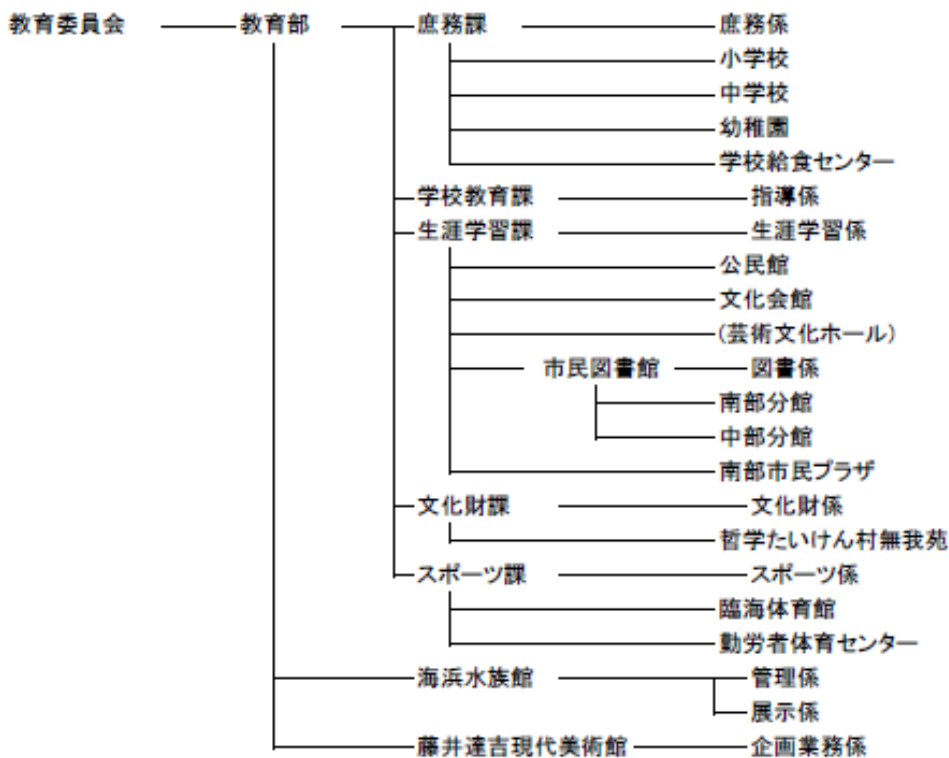
イ 過去から未来までを常に視野に入れていた藤井達吉の精神を見出せる現代の作家を発掘し、若者に対する広場と創造の場として全国に発信します。

ウ 新しい芸術を身近に提供することで市民の芸術文化の向上を支援し、子供たちの豊かで未知なる感性を伸ばして未来を見据える力を育てます。

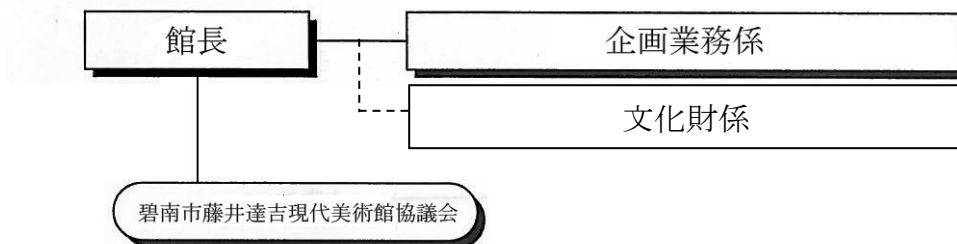
エ 地域の歴史や文化に焦点をあてた研究を行います。

(3) 組織

ア 行政組織図



イ 組織体制



ウ 人員配置（令和7年4月1日現在）

館長 会計年度任用職員 1人

副館長 課長級 2人

企画業務係 課長補佐級 1人（事務員）、主査級 2人（学芸員）

会計年度任用職員 3人（学芸員）、会計年度任用職員 2人

文化財係 係長級 1人（学芸員）、主事級 1人（学芸員）、会計年度任用職員 1人

(4) 予算

ア 令和7年度予算状況（当初）

（単位：千円）

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	42,367	269	38,523	57,721	16,093	1039	156,012
特定財源	0	0	229	11,044	105	0	11,378
一般財源	42,367	269	38,294	46,677	15,988	1039	144,634

イ 令和8年度予算要求状況

（単位：千円）

	美術館 事務管理 事業	美術館 協議会 運営事業	美術館 施設管理 事業	企画展 開催事業	美術品 運営事業	彫刻維持 管理事業	合計
予算	38,627	302	44,628	55,782	13,136	1,024	153,499
特定財源	0	0	275	11,099	105	0	11,479
一般財源	38,627	302	44,353	44,693	13,031	1,024	142,020

(5) 施設

施設概要

■建物・設備概要

施設概要

名称	碧南市藤井達吉現代美術館	
所在地	愛知県碧南市音羽町一丁目1番地	
敷地面積	2,138.19㎡	
建築面積	964.60㎡(既存部820.36㎡、増築面積144.24㎡)	
延床面積	2,934.52㎡	
階数	地下1階、地上3階	
最高高さ	16.54m	
工事種別	増築、用途変更	
構造種別	鉄筋コンクリート造	
建築主	碧南市	
設計監理	株式会社日本設計 名古屋支社	
リニューアル 工事施工	(建築工事) 木村建設株式会社 (電気設備工事) 衣浦電気工事株式会社 (機械設備工事) 株式会社桐元	
仕上げ	(屋根)	日本瓦一文字葺 シリコンポリエステル樹脂塗装カ ラステンレス鋼板
	(外壁)	鋼製430ルーバー 施軸せつ器質タイル
	(建具)	アルミサッシュ
	(展示室)	床：タイルカーペット 壁：石膏ボード+調湿建材、 ガラスクロスエマルジョンペイント 天井：エキスパンドメタル
	(多目的室A)	床：浸透性コンクリート表面硬化剤 壁：石膏ボード、 ガラスクロスエマルジョンペイント 天井：石膏ボード、 エマルジョンペイント
	(収蔵庫)	床：ビニール床シート 壁：片面アルミフィルム張 (庫内側)石膏ボード+調湿パネル 天井：片面アルミフィルム張 (庫内側)石膏ボード+ ロックウール化粧吸音板
	電気設備	(電力引込) 架空引込方式1回線 (受変電設備) 三相3線式 6600V(屋外閉鎖型) 主変電 三相100kVA×1 单相50kVA×1 副変電 三相300kVA×1 单相100kVA×2 幹線 照明 单相3線式 200/100V 動力 三相3線式 200V 電話 引込 10回線 防災 自動火災報知設備、 非常放送(兼用)
空調設備	(熱源)	エネルギー・電気
	(方式)	空気熱源ヒートポンプ方式
	(空調)	個別方式 展示室：カセット型、 収蔵庫：床置型
	(換気)	個別式 1種換気・3種換気方式
	(排煙)	自然排煙方式、機械排煙方式
(監視)	中央監視方式	
衛生設備	(給水)	美術館用：上水 (引込口径40A、直圧給水) 厨房用：上水 (引込口径20A、直圧給水)
	(給湯)	個別式(電気)、貯湯式
	(排水)	屋内汚水、 雑排水分流式 屋外合流方式 屋外排水下水道放流
	(消火)	屋内消火栓設備、 窒素ガス消火設備、連結散水設備

エレベーター	機械室レス 1基 (1000kg積 15人乗 45.0m/min W1.6m×D1.5m×H2.6m 車椅子仕様・視覚障害者仕様)
--------	---

設備概要

展示保存環境

空調調和

区分	設定温度 (目標値)	温度変化	設定湿度 (目標値)	湿度変化
展示室	22℃	±2℃	55%	±5%
収蔵庫	22℃	±2℃	55%	±5%

作品展示：壁面展示、固定展示ケースのほか移動型展示ケースにて展示

展示室1	階数：2階 床：タイルカーペット 面積：193.0㎡ 天井高：3.2～6.4m 床耐荷重：350.0kg/㎡
展示室2	階数：2階 床：タイルカーペット 面積：177.0㎡ 天井高：2.7m 床耐荷重：500.0kg/㎡ 展示ケース長 10.0m
展示室3	階数：1階 床：タイルカーペット 面積：83.0㎡ 天井高：2.7m 床耐荷重：290.0kg/㎡ 展示ケース長 7.0m
展示室4 (藤井達吉記念室)	階数：1階 床：タイルカーペット 面積：90.0㎡ 天井高：2.9m 床耐荷重：500.0kg/㎡
多目的室A	階数：2階 床：浸透性コンクリート表面硬化剤 面積：81.2㎡ 天井高：2.75m 床耐荷重：290.0kg/㎡
多目的室B	階数：B1階 面積：104.0㎡

収蔵保管設備

区分	階数	面積
収蔵庫1	3階	78.0㎡
収蔵庫2	3階	70.0㎡
収蔵庫3	3階	89.5㎡
保存修復室	1階	32.2㎡
一時保管庫	1階	19.0㎡
荷解室	1階	38.976㎡
エレベーター	兼用	

教育普及等設備

区分	階数	面積
創作室	B1階	63.0㎡
情報コーナー	B1階	135.0㎡

防災設備

防火	自動火災報知設備 屋内消火栓 窒素ガス消火設備(収蔵庫)
防犯	開館時には展示室内に常時監視員配置。 閉館時には機械監視警備監視カメラ(事務室でモニタリング可能)

2 事業概要

(1) 企画展

藤井達吉の顕彰にふさわしい企画のほか、美術の様々な領域を視野に入れて、優れた美術作品を市民に紹介していきます。また、地域の歴史や文化に焦点をあてた歴史系の企画展も定期的に行います。

<企画方針>

- ア 藤井達吉の創作活動を紹介する展覧会
- イ 藤井達吉の精神を反映した内容の展覧会
- ウ 地域の歴史や文化を顕彰する展覧会
- エ 市民の文化・教養の向上に資すると思われる展覧会

(2) 常設展等

藤井達吉に関わる作品及び資料の公開の場として運営します。また、地域に関わる歴史的資料の展示の場としても努めます。

(3) 教育普及

幅広い年代の人々に美術に親しんでもらえるよう、様々な教育普及事業に取り組み、美術情報の提供に努めます。学校教育をはじめ他の教育活動との連携を図っていきます。また、市民の創作活動の場として、市民ギャラリーも併設します。

(4) 収集・保管

「市民の財産」といえるコレクションの形成に努め、その作品の恒久的な保存に努めます。

<収集方針>

- ア 藤井達吉の芸術を顕彰するに重要と思われる作品
- イ 藤井達吉の精神を見出せる作家の作品
- ウ 地域の歴史や文化を語るうえで重要と思われる作家の作品
- エ 市民の美術文化の向上に資すると思われる作品
- オ 上記の作品・作家を理解するうえで役立つ資料

(5) 調査研究

美術館活動の充実を図るため、藤井達吉及び藤井と同時代の美術を中心として、国内外の美術に関することや、地域の歴史や文化に関する調査・研究に取り組んでいきます。

令和 7 年度活動状況

1 企画展

(1) 美空間への散歩 ―ア・ラ・カ・ル・ト―

内 容	藤井の親戚関係や直接交流のあった関係各位からご寄贈いただいた藤井達吉作品をはじめ、藤井と同時代に活躍した森田恒友や村山槐多、不染鉄、以前当館でも展覧会を行った伊藤廉や山中信天翁の作品など、令和 6 年度に新しく収集された新収蔵作品を紹介しました。
会 期	令和 7 年 4 月 1 日(火)～5 月 11 日(日) 36 日間
会 場	展示室 1・2・3・多目的室 A
観覧者数	1,906 人 (1 日平均 52.9 人)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
出品点数	147 件
印刷物	ポスター B2 判、チラシ A4 判両面
印刷物 デザイン	ポスター・チラシ：作石敏達+マクガフィンデザイン事務所
担 当	中山里恵
関連事業	<p>ア 記念講演会 演題：「美空間への散歩 ―コレクションが語るもの―」 日時：令和 7 年 4 月 29 日 (火・祝) 14 時～15 時 30 分 講師：木本文平 (当館館長) 会場：多目的室 B ※都合により中止</p> <p>イ ワークショップ「みんなで鑑賞。対話型鑑賞」 内容：ひとつひとつの作品の鑑賞し、参加者全員で自由に話し合いました。 日時：令和 7 年 4 月 13 日 (日) 10 時 30 分～12 時、13 時 30 分～15 時 講師：山本宗由氏 (鑑賞ファシリテーター) 会場：展示室 参加者：計 7 人 参加費：100 円 対象：中学生以上</p> <p>ウ フリートークデー 内容：声の大きさを気にせず展示室でお話しできる日を設け、親子や友人と作品について自由にお話しできました。</p>

	<p>日時：5月3日（土）～5月6日（火）10時～17時</p> <p>エ ミュージアムコンサート 日時：5月3日（土・祝）14:00～15:00 出演：KOHTEN氏（ヴァイオリニスト） 会場：喫茶むぎの家 参加者：100名</p> <p>オ 美術館でパネルシアターと館内ミニツアー 内容：美術館の中で絵本の読み聞かせや作品鑑賞などのサポートを行いました。 日時：5月6日（火）10時～10時30分 出演：えほんの森 会場：1階ロビー、展示室、美術館バックヤード 参加者：小学生以下と保護者32人</p> <p>カ 美術館で簡単ZINEづくり！ 内容：美術館オリジナルの自由につくる小冊子（ZINE）づくりを体験していただきました。 日時：4月1日（火）～5月11日（日）10時～17時 会場：1階ロビー 参加者：19人 参加費：100円</p> <p>キ ギャラリー・トーク（展示説明会、14時～） 説明者：中山里恵（当館学芸員） 第1回：令和7年4月5日（日） 15人 第2回：令和7年4月19日（土） 5人 第3回：令和7年5月11日（日） 17人</p>
<p>メディア 掲載記事 (全10件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報へきなん 4月号 ・『ナゴヤアートニュース4・5月号』東海アド・エージェンシー ・PITCH FM「まちのまど」（生放送）（4月1日13:35～中山出演） ・PITCH FM「Pitch HAPPY市場」（生放送）（4月4日午前11時～中山出演） ・KATCH アートナビ（KATCH TIME 30）（初回放送 4月3日） ・Yahoo!Japan ニュース 「【碧南市】『美空間への散歩 アラカルト展』作家たちの珠玉の作品をひとつぶずつ楽しめる企画展、初出しも」（4月11日） ・Press Walker(4月)

	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村イベントだより（4月1日～30日） ・碧南市公式LINE ・碧南市公式X
団体鑑賞	県内病院関係者 20名（4月25日）

(2) 永井直勝没後400年 長田・永井一族（文化財課予算対応）

内 容	碧南出身の戦国武将・大名である永井直勝（1563-1625）の没後400年を記念し、直勝を生んだ三河大浜の長田家の足跡と、直勝以降江戸幕府を支えた永井家の一族の活躍を紹介しました。
会 期	令和7年5月24日（土）～7月6日（日） 38日間
会 場	展示室1・2・多目的室A
観覧者数	3,450人（1日平均90.8人）
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
協 力	碧南市文化財保護審議会
出品点数	81点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.5cm、 出品目録A4判2頁、カタログB5判変型
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：ARTICAL 小島邦康 カタログ：株式会社エムアイシーグループ
担 当	豆田誠路、都築茉莉
関連事業	<p>ア 記念講演会 演題：「戦国織豊期における大浜の神官武家長田氏の動向」 日時：令和7年6月7日（土）14時～15時30分 講師：村岡幹生氏（中京大学名誉教授） 会場：多目的室B 参加者：71人</p> <p>イ 長田・永井サミット 日時：令和7年6月22日（日）14時～16時 報告者・パネラー：佐藤友理氏（岐阜市歴史博物館学芸員）、千田康治氏（高槻市立しろあと歴史館長）、山下登氏（郷土史家）、豆田誠路（文化財課） 会場：多目的室B 参加者：100人</p> <p>ウ ワークショップ「検証！昔の碧南の地形」 日時：令和7年6月29日（日）10時30分～11時30分、13時30分～14時30分</p>

	<p>講師：当館教育普及担当 会場：創作室 参加者：計 21 人</p> <p>エ ギャラリー・トーク（展示説明会、午後 2 時～） 説明者：豆田誠路（当館主任学芸員） 第 1 回：令和 7 年 5 月 25 日（日） 21 人 第 2 回：令和 7 年 5 月 31 日（土） 25 人 第 3 回：令和 7 年 6 月 8 日（日） 17 人 第 4 回：令和 7 年 6 月 14 日（土） 24 人 第 5 回：令和 7 年 6 月 21 日（土） 25 人 第 6 回：令和 7 年 6 月 28 日（土） 22 人 第 7 回：令和 7 年 7 月 6 日（日） 50 人</p> <p>オ 音声ガイドの提供 内容：20 件について音声ガイドによる説明を提供しました。 日時：会期中</p>
<p>メディア 掲載記事 （全15件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK 名古屋「おはよう東海」【展覧会紹介】（5 月 26 日） ・中日新聞【朝刊 西三河版 展覧会紹介】（6 月 3 日） ・碧南・高浜タウン情報誌たんぽぽニュース【展覧会紹介】（令和 7 年 6 月 13 日） ・Yahoo!Japan ニュース「【碧南市】企画展『永井直勝没後 400 年 長田・永井一族』碧南出身戦国武将直勝を生んだ一族の歴史を紹介」（6 月 15 日） ・KATCH「KATCH アートナビ（KATCH TIME 30）」（初回 6 月 12 日放送） ・PITCH FM まちかどりレポート（5 月 28 日 午前 11 時 30 分～ 豆田出演） ・PITCH FM「まちのまど」（令和 7 年 6 月 4 日 豆田出演） ・FM AICHI「MORNING BREEZE」（6 月 10 日） ・広報へきなん 5 月号 ・「おでかけガイド 愛知の博物館 2025.04→2025.09」（3 月発行、愛知県博物館協会） ・「たなおまちおこし かわら版」No. 33（令和 7 年 6 月） ・知多半島の地域情報誌「Step」6 月号 ・Press Walker(5 月) ・碧南市 HP PhotoNews ・碧南市公式 X

(3) 橋口五葉のデザイン世界 —夏目漱石本の装幀から新板画へ—

内 容	書籍の装幀や新板画の先駆者として知られる橋口五葉(1881-1921)の初期の絵画をはじめ、書籍の装幀や挿絵、素描や木版画、さらに復刻された浮世絵などを一堂に展示し、漱石との深い親交にも焦点を当てながら、洒落なデザイン世界を中心に五葉の多岐にわたる創作活動を紹介しました。
会 期	令和7年7月23日(水)～8月31日(日) 35日間 ※会期中、一部展示替を行いました。 [8月13日(水)より《浴場の女》実物からパネル展示に変更]
会 場	展示室1・2・3・多目的室A
観覧者数	5,913人(1日平均168.9人)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
共 催	中日新聞社
監 修	岩切信一郎
企画協力	一般社団法人インディペンデント
出品点数	241点(資料等も含む)
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、 カタログB5判変型(25.4×18.3cm、252頁)、出品目録A4判6頁
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：桑畑吉伸 カタログ：桑畑吉伸
担 当	木村理恵子、大野俊治
関連事業	ア 記念講演会 演題：「漱石と五葉の魅力探訪」 日時：令和7年8月2日(土)14時～15時30分 講師：岩切信一郎氏(本展監修者・美術史家) 会場：多目的室B 参加者：64人 イ ワークショップ「和とじの自分ノートをつくろう！」 日時：令和7年8月3日(日)10時30分～12時、13時30分～15時30分 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴) 講師：青木眞美氏(西尾市岩瀬文庫学芸員)西尾市岩瀬文庫ボランティア

	<p>会場：創作室 参加者：計 20 人 参加費：500 円</p> <p>ウ フリートークデー 内容：声の大きさを気にせず展示室でお話できる日を設け、親子や友人と作品について自由にお話できました。 日時：8月9日（土）10時～17時 参加者：ワークシート実施数 90人</p> <p>エ ギャラリー・トーク（展示説明会、午後2時～） 説明者：木村理恵子（当館副館長）、大野俊治（当館特任学芸員） 第1回：令和7年8月16日（土）63人 第2回：令和7年8月23日（土）50人</p> <p>オ 猫の写真大募集！ 募集期間：6月1日（日）～7月13日（日）83点 展示：会期中</p> <p>カ 九重味淋直営 Café & Shop とコラボ 内容：五葉のモダンデザインぷりんの提供、隣接ショップにて五葉デザインラッピングのグッズ販売 日時：会期中 会場：レストラン&カフェK庵</p> <p>キ 図書館に特設コーナーを設置 内容：図書館本館・中部分館・南部分館 で「橋口五葉のデザイン世界」特設コーナーを設置し、橋口五葉に関連する図書を紹介しました。 日時：令和7年8月1日（金）～令和7年8月31日（日）</p> <p>ク 来場記念スタンプカード、五葉装幀双六特製シートプレゼント 日時：会期中</p> <p>ケ 音声ガイドの提供 内容：20作品について音声ガイドによる説明を提供しました。 日時：会期中</p>
<p>メディア 掲載記事 （全36件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おでかけガイド 愛知の博物館 2025.4→2025.9」（3月発行、愛知県博物館協会） ・広報へきなん7月号 ・『ナゴヤアートニュース6月・7月号、8・9月号』東海アド・エージェンシー

- ・『知多半島情報誌 Step 7月号』「今月号のプレゼント（招待券）」欄
（令和7年5月25日発刊）有限会社メディアマガジン
- ・『情報誌 chao』「今月のプレゼント（招待券）」欄（令和7年6月15日発行、株式会社ネット・フレンズ）
- ・『月刊なごや』6月号（令和7年6月1日発行、北白川書房）
- ・『ART 'S』87（令和7年6月発行、株式会社丸八エンターテインメント）
- ・『KELLY』2024年9月号 No. 437 展覧会紹介（7月23日発行、株式会社ゲイン）
- ・『豊橋文化（気まぐれプチ旅）』VOL. 62（令和7年7月15日）
- ・中日新聞【朝刊 三河総合】（令和7年6月29日）
- ・中日新聞【朝刊 西三河版 開催社告】（令和7年7月8日）
- ・中日新聞【朝刊 三河版 夏のおでかけ特集】（令和7年7月19日）
- ・朝日新聞【朝刊 美術館博物館】（令和7年7月23日）
- ・中日新聞【夕刊 主な美術館博物館】（令和7年7月24日）
- ・碧南・高浜タウン情報誌たんぽぽニュース【展覧会紹介】（令和7年7月25日）
- ・中日新聞【朝刊 広告記事下・半2段】（令和7年7月29日）
- ・朝日新聞【朝刊 美術館博物館】（令和7年7月30日）
- ・中日新聞【夕刊 主な美術館博物館】（令和7年7月31日）
- ・中日新聞【夕刊 主な美術館博物館】（令和7年8月7日）
- ・中日新聞【チラシ折り込み（安城市、西尾市の一部）】（令和7年8月7日）
- ・中日新聞【朝刊 県内版 開幕記事】（令和7年8月10日）
- ・中日新聞広告【朝刊 広告記事下・半2段】（令和7年8月13日）
- ・中日新聞【夕刊 主な美術館博物館】（令和7年8月14日）
- ・中日新聞【朝刊 県内版 作品紹介連載（上）】（令和7年8月20日）
- ・中日新聞【朝刊 県内版 作品紹介連載（下）】（令和7年8月21日）
- ・中日新聞【夕刊 主な美術館博物館】（令和7年8月21日）
- ・中日新聞【朝刊 西三河版 入館者90万人達成】（令和7年8月

	<p>24日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR金山駅・刈谷駅ポスター集中貼り広告 (7月21日～8月31日) ・ 名古屋鉄道主要駅構内チラシ設置 (8月1日～8月31日) ・ 中日新聞 WEB 広告 会期中 ・ フェイスブック・インスタグラム広告 会期中 ・ PITCH FM「まちなま」 (令和7年8月6日 大野出演) ・ KATCH NETWORK (ケーブルテレビ) 「KATCHアートナビ (KATCH TIME 30)」 (令和7年8月6日 (取材) 大野出演) ・ PITCH FM「まちかどリポート」 (令和8年8月15日 大野出演) ・ 碧南市公式LINE ・ 碧南市公式X
--	--

(4) 川端龍子展 日本画壇に挑戦し続けた革命児

内 容	<p>明治・大正・昭和という激動の時代を生き、圧倒的なスケールで超大作を生み出した日本画家・川端龍子は、自ら主宰した日本画団体・青龍社で「会場芸術」を提唱します。時代的なテーマに取り組んだ大作を描き、それまでの「床の間芸術」とは異なる新しいスタイルを確立させた龍子の画業を回顧し、紹介しました。</p>
会 期	<p>令和7年9月13日(土)～11月3日日(月・祝) 45日間 ※会期中、展示替を行いました。 前期：9月13日(土)～10月5日(日) 後期：10月7日(火)～11月3日(月・祝)</p>
会 場	展示室1・2・3・多目的室A
観覧者数	11,295人(1日平均251人)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館・碧南市・碧南市教育委員会
共 催	朝日新聞社
特別協力	大田区立龍子記念館
企画協力	株式会社アートワン
出品点数	65点
印 刷 物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.5cm、 図録B5判変型(21.9×19.1cm)
印 刷 物 デザイン	ポスター・チラシ・チケット：ARTICAL 小島邦康 図録：大向デザイン事務所 坂本佳子

担 当	是永紫帆
関連事業	<p>ア 記念講演会 1 演題：「日本画家・川端龍子の会場芸術」 日時：9月27日（土）14:00～15:30 講師：木村拓也 氏（大田区立龍子記念館 副館長） 会場：多目的室B 参加者：50名</p> <p>イ 記念講演会 2 演題：「龍子と達吉」 日時：10月13日（月・祝）14:00～15:30 講師：木本文平（当館館長） 会場：多目的室B 参加者：65名</p> <p>ウ 対話型アート鑑賞プログラム アートリップ 内容：認知症の方に向けた鑑賞プログラム。講師の指導のもと、作品鑑賞と簡単な創作体験を実施しました。 日時：9月26日（金）10:00～12:00、13:30～15:30 対象：認知症の方とその家族、介護施設職員など 講師：時高直子氏（ARTIMEET 主宰・一般社団法人アーツアライブ 認定アートコンダクター） 場所：展示室1、創作室 参加者：計19名 参加費：一人500円 協力：一般社団法人アーツアライブ</p> <p>エ ワークショップ「日本画で秋を描こう」 内容：黒い色紙に、日本画の絵の具で秋草や紅葉を描きました。 日時：10月5日（日）10:30～12:00、13:30～15:00 対象：一般（小学4年生以上） 場所：創作室 参加者：計23名</p>

	<p>参加費：400円</p> <p>オ ミュージアムコンサート「津軽三味線と和太鼓の競演！」 日時：10月11日（土） 15:00～16:00（開場 14:30） 出演：和太鼓 染-sen- 会場：喫茶むぎの家 参加者：60人</p> <p>カ 館長レクチャー（館長による展示説明会、午後2時～） 説明者：木本文平（当館館長） 第1回：9月21日（日） 41人 第2回：10月4日（土） 42人 第3回：10月25日（土） 47人</p> <p>キ カフェ「むぎの家」コラボメニュー提供 内容：美術館1階の喫茶コーナーむぎの家で展覧会コラボメニューを提供しました。</p> <p>ク 碧南海浜水族館と美術館連携事業 スタンプラリー 本展会期中美術館と水族館でスタンプラリーを実施。期間中に両館のスタンプを集めた方に記念品をプレゼントしました。 参加者：両館計223個</p> <p>ケ 碧南海浜水族館と美術館相互割引 期間中に各チケットの半券提示で観覧料の割引を実施しました。 利用者：両館計180人</p> <p>コ 音声ガイドの提供 内容：展覧会概要と20作品について音声ガイドによる説明を提供しました。 日時：会期中</p>
<p>メディア 掲載記事 (全45件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『広報へきなん』9月1日号（関連イベント掲載） ・駅貼広告（JR金山駅）9月15日～9月28日、10月20日～11月2日 ・駅貼広告（名鉄金山駅）9月29日～10月5日 ・朝日新聞（15段カラー）1回（9月13日） ・朝日新聞（半5段モノクロ）4回（9月17日朝、9月27日朝、10月7日朝、10月10日朝）

- ・朝日新聞（新試写室カラー）4回（9月23日朝、10月3日朝、10月17日朝、10月27日朝）
- ・朝日新聞（朝日新聞社からのお知らせ）9月23日
- ・Instagram WEB 広告
- ・Facebook WEB 広告
- ・中日新聞（朝刊 西三河版 開会式）9月13日
- ・朝日新聞（朝刊 地域総合 展覧会紹介、美博ノート）9月17日
- ・岐阜新聞（朝刊 美博ノート）9月19日
- ・しんぶん赤旗（展覧会紹介）9月19日
- ・中日新聞（朝刊 西三河版 美術館学習）9月20日
- ・信濃毎日新聞（朝刊 特集）9月25日
- ・毎日新聞（朝刊 愛知版）9月27日
- ・岐阜新聞（朝刊 美博ノート）10月3日 10月10日
- ・中日新聞（朝刊 西三河版 1万人達成）10月31日
- ・朝日新聞（朝刊 三河、岐阜版 1万人達成）10月31日
- ・ARTPR(メディア向け)
- ・アートアジェンダ
- ・個展なび
- ・Sfumart
- ・Fashion Press
- ・Tokyo Live & exhibitions
- ・美術手帖 Web
- ・Aichi Now
- ・西三河ぐるっとナビ
- ・KATCH アプリ イベント情報
- ・アートアジェンダ展覧会レビュー
- ・美術展ナビ展覧会レビュー
- ・Sfumart 取材レポート
- ・Yahoo ニュース 展覧会レビュー
- ・KATCH NETWORK（ケーブルテレビ）「KATCH TIME30」10月23日（初回放送）
- ・PITCH FM「まちかどりポート」10月3日
- ・PITCH FM「まちのまど」9月17日
- ・『美術の窓』（2024年11月20日、生活の友社）
- ・『おでかけガイド』〔令和7年4月～令和7年9月〕（2025年3月 愛

	知県博物館協会) ・『おでかけガイド』[令和7年10月～令和8年3月](2025年9月 愛知県博物館協会) ・『美術の窓』(2025年9月20日、生活の友社) ・『ナゴヤアートニュース10・11月号』 東海アド・エージェンシー ・『BM』(2025年9月20日、美術の杜出版) ・『月刊ギャラリー』(2025年10月1日、ギャラリーステーション) ・碧南市公式LINE ・碧南市公式X
美術館学習	市内7小学校5年生 651人・教員29人

(5) 吉岡弘昭展 哀しみとおかしみを湛えた不思議な魅力

内 容	名古屋市を拠点に活動する画家・吉岡弘昭(1942-)は、現代社会やそこに生きる人間の生の深淵を見つめる表現で群を抜く存在です。本展では、初期の油彩作品から諧謔的な表現により独自の作品世界を切り拓いた版画、水彩画、新作に至るまで、約60年に及ぶ吉岡の画業を総覧しました。
会 期	令和7年11月15日(土)～12月21日(日) 32日間
会 場	展示室1・2・3・多目的室A
観覧者数	5,371人(1日平均167.8人)
主 催	碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会
共 催	中日新聞社
ゲストキュレーター	栗田秀法(跡見学園女子大学教授)
出品点数	110点
印刷物	ポスターB2判、チラシA4判両面、チケット7.0×17.0cm、 出品目録A4判両面、図録B5判変型(25.3×19.0cm)
印刷物デザイン	ポスター・チラシ・チケット・図録表紙：小島制作所 こじまひさや 図録：株式会社エムアイシーグループ
担 当	大長悠子
関連事業	ア 記念対談 演題：「プリントとペインティングの往還」 日時：11月15日(土)14:00-15:30 講師：吉岡弘昭氏(画家)、栗田秀法氏(跡見学園女子大学教授)

	<p>司会：木本文平（当館館長）</p> <p>会場：多目的室 B</p> <p>参加者：61 名</p>
イ	<p>記念講演会</p> <p>演題：「吉岡ワールドの創出」</p> <p>日時：11 月 23 日（日）14:00－15:30</p> <p>講師：木本文平（当館館長）</p> <p>会場：展示室 3</p> <p>参加：23 名</p>
ウ	<p>アーティストトーク</p> <p>日時：11 月 30 日（日）14:00－15:00</p> <p>講師：吉岡弘昭 氏（画家）</p> <p>場所：展示室 1、2、多目的室 A</p> <p>参加者：69 名</p>
エ	<p>ワークショップ「らくがきランド」</p> <p>日時：12 月 6 日（土）10:00－12:00</p> <p>講師：吉岡弘昭 氏（画家）</p> <p>対象：3 歳から小学生（小学 2 年生までは保護者同伴）</p> <p>会場：創作室</p> <p>参加費：100 円</p> <p>参加者：14 人</p>
オ	<p>記念コンサート「歌とフルートで描く冬の情景」</p> <p>日時：12 月 7 日（日）15:00－16:00</p> <p>出演者：笈聰子 氏（メゾソプラノ）、笈孝也 氏（フルート）、金田紗希里 氏（ピアノ）</p> <p>会場：喫茶むぎの家</p> <p>参加者：59 人</p>
カ	<p>ギャラリー・トーク（展示説明会、午後 2 時～）</p> <p>説明者：大長悠子（当館学芸員）</p> <p>第 1 回：令和 7 年 11 月 24 日（月・祝） 15 人</p> <p>第 2 回：令和 7 年 12 月 13 日（土） 32 人</p>

	<p>第3回：令和7年12月22日（日） 61人</p> <p>キ 「わっぱ堂」コラボベーグルの販売 内容：出品作品《GON&BEN（YELLOW）》にちなんだベーグルを販売しました。</p> <p>日時：会期中の土日 会場：ベーグル専門店「わっぱ堂」</p> <p>ク 音声ガイドの提供 内容：20作品について音声ガイドによる説明を提供しました。 日時：会期中</p>
<p>メディア 掲載記事 (全23件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報へきなん 10月号 ・広報へきなん 11月号 ・『版画芸術』2025年秋号 No. 209・広告（令和7年9月1日発行、阿部出版株式会社） ・『Step』11月号 展覧会紹介（令和7年10月25日発行） ・『月刊ギャラリー11月号』広告（令和7年11月1日、株式会社ギャラリーステーション） ・『月刊ギャラリー11月号』『同12月号』『全国の展覧会スケジュール』欄（株式会社ギャラリーステーション） ・『ナゴヤアートニュース10・11月号』『同12・1月号』（東海アド・エージェンシー） ・中日新聞・朝刊「社告」（令和6年11月5日） ・中日新聞・朝刊「県内版」「吉岡さん画業63年振り返る」（前田智之記者、令和7年11月15日） ・中日新聞・朝刊「西三河版」「吉岡さん作品の思い出語る」（前田智之記者、令和7年11月16日） ・Pitch FM ピっちスクエア「まちのまど」（令和7年11月19日 大長出演） ・中日新聞・朝刊「広告」（令和7年11月20日） ・中日新聞・朝刊「広告」（令和7年11月26日） ・Pitch FM Pitch HAPPY市場「まちかどりレポート」（令和7年12月3日 大長出演）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ KATCH NETWORK 「KATCH アートナビ (KATCH TIME30)」 (初回放送令和7年12月6日) ・ 中日新聞・朝刊「この人 吉岡弘昭さん」 (帯田祥尚記者、令和7年12月7日) ・ 中日新聞・連載上 (大長悠子、令和7年12月10日) ・ 中日新聞・連載下 (大長悠子、令和7年12月11日) ・ JR・駅ポスター広告 (B1ポスター2連貼り) 金山駅・刈谷駅 (11月24日(月) - 11月30日(日)、12月8日(月) - 12月14日(日)) ・ インスタグラム広告 (会期中) ・ フェイスブック広告 (会期中) ・ 碧南市公式LINE ・ 碧南市公式X
美術館学習	市内5中学校1年生 664人・教員35人

2 常設展

(1) コレクション展

第1期	<p>奥谷秋夫コレクション</p> <p>会 期：令和7年4月1日(火)～6月15日(日) 56日間</p> <p>会 場：展示室4</p> <p>展 示 数：11点</p> <p>観覧者数：2,465人(無料) (1日平均44.0人)</p>
第2期	<p>特別展 花</p> <p>会 期：令和7年5月24日(土)～7月6日(日) 38日間</p> <p>会 場：展示室3</p> <p>展 示 数：22点</p> <p>花</p> <p>会 期：令和7年6月21日(土)～8月31日(日) 53日間</p> <p>会 場：展示室4</p> <p>展 示 数：11件</p> <p>観覧者数：5,657人(無料) (1日平均73.5人)</p>
第3期	お遍路さん

	<p>会 期：令和7年9月13日(土)～11月3日(月・祝) 45日間</p> <p>会 場：展示室4</p> <p>展 示 数：15点</p> <p>観覧者数：8,418人(無料) (1日平均187.1人)</p>
第4期	<p>藤井達吉フォトコレクション</p> <p>会 期：令和7年11月15日(土)～12月21日(日) 32日間</p> <p>会 場：展示室4</p> <p>展 示 数：35件</p> <p>観覧者数：2,737人(無料) (1日平均85.5人)</p>
第5期	<p>椿</p> <p>会 期：令和8年3月1日(日)～5月10日(日) 52日間のうち17日間</p> <p>会 場：展示室4</p> <p>展 示 数：7件</p> <p>観覧者数： 人(無料) (1日平均 人)</p>
メディア掲載記事(全6件)	<ul style="list-style-type: none"> ・中日新聞【朝刊 西三河版】(令和7年4月、7月16日、9月20日、9月29日) ・PITCH FM「まちのまど」(令和7年4月4日中山出演) ・KATCH NETWORK(ケーブルテレビ)「KATCH TIME30」(令和7年5月21日(初回放送)) ・広報へきなん4月号、5月号、6月号、9月号、11月号、3月号 ・碧南市公式LINE ・碧南市公式X

(2) 文化財・民俗資料展

(会場：地下1階情報コーナー展示ケース)

第1期	<p>令和7年5月31日(土)～8月24日(日)</p> <p>碧南の歴史：戦争が起こっていたあの頃～戦後80年～</p>
第2期	<p>令和7年8月30日(土)～10月19日(日)</p> <p>民俗資料：懐かしいものたくさん！学校の思い出</p>
第3期	<p>令和7年10月25日(土)～12月21日(日)</p> <p>民俗資料：三河・碧南のやきもの</p>
第4期	<p>令和8年3月1日(土)～5月10日(日)</p> <p>碧南の歴史：碧南の古地図</p>

3 共催展等

(1) 第38回碧南市野外彫刻コンテスト入賞作品展

会 期	令和7年11月21日（金）～12月7日（日） 15日間
会 場	多目的室B
観覧者数	365人（無料）（1日平均24.3人）

(2) 第17回碧南文化協会選抜美術展

会 期	令和8年3月1日（日）～3月8日（日） 7日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	人（無料）（1日平均 人）

(3) るるる展

会 期	令和8年3月7日（土）～3月22日（日） 12日間
会 場	多目的室B
観覧者数	人（無料）（1日平均 人）

(4) HEKINANからそれぞれのスピリッツ展17th

会 期	令和8年3月12日（木）～3月22日（日） 10日間
会 場	展示室1・2
観覧者数	人（無料）（1日平均 人）

(5) 市民ギャラリー貸出

美術作品等を創作している皆さんの発表の場として多目的室Bを有料で開放

観覧者数 314人（1件延べ5日）

4 教育普及

(1) ワークショップ（対象：小学生等、会場：創作室 ※1月・2月は大浜まちかどサロン2階会議室）（393人）

1	令和7年4月27日（日）	静物画に挑戦—水彩絵の具で静物を描いてみよう—（33人参加）
2	令和7年5月18日（日）	「描く」×「こする」×「拭き取る」—木炭を使って絵を描こう—（25人参加）
3	令和7年5月25日（日）	「切る」×「はる」—キャンバスにコラージュしてあそぼう—（25人参加）
4	令和7年6月15日（日）	「描く」×「刷る」—リトグラフに挑戦！—（30人参加）
5	令和7年7月13日（日）	「つくる」×「かく」—面白ペンで花文字をか

		こうー (30人参加)
6	令和7年7月27日(日)	器の欠けらとシーグラスで“夏の金継ぎアクセサリーづくり” 講師:ギャラリーにこここ(20人参加)
7	令和7年8月7日(木)～8月9日(土)	夏休みポスター・工作相談ワークショップ(12人参加)
8	令和7年8月10日(日)	版画でブックデザイン 講師:一〇六印刷団(アーティスト)(20人参加)
9	令和7年9月14日(日)	透明水彩絵の具で絵封筒をつくろう♪ 講師:近藤萌花氏(作家)(19人参加)
10	令和7年10月19日(日)	てらまちウォーキングで美術館にも寄ろう! 「達吉図案の缶バッチづくり」(76人参加)
11	令和7年11月16日(日)	達吉くるみボタンづくり 講師:小林夏美氏(6人参加)
12	令和7年11月23日(日)	フルイドアートを楽しもうーキャンバスにオリジナル模様づくりー(18人参加)
13	令和7年12月7日(日)	おめでたい土人形の絵付けをしよう 講師:禰冨田徹氏(三河大浜土人形作家)(20人参加)
14	令和8年1月18日(日)	「ぬる」×「かく」×「重ねる」ー色鉛筆を深掘りしようー(27人参加)
15	令和8年1月25日(日)	自分だけの物語をつくろうーまるを描いて簡単絵本づくりー(9人参加)
16	令和8年2月8日(日)	「ひく」×「ずらす」×「ひく」ー一定規を使って描いてみようー(7人参加)
17	令和8年2月15日(日)	「スウィングバード」をつくろう(16人参加)

(2) 親子ワークショップ(対象:3～6歳とその保護者等、会場:創作室)(135人)

1	令和7年4月20日(日)	「切る」×「おる」×「つなぐ」ー画用紙を使って恐竜をつくろうー(21人参加)
2	令和7年6月8日(日)	「はっぱ」×「うつす」×「する」ー落ち葉を使って、面白い版画にしようー(19人参加)
3	令和7年8月24日(日)	「描く」×「する」ーシルクスクリーン印刷ー重ねずりを活かそう(27人参加)

4	令和7年9月28日(日)	「ぬる」×「はじく」—お月見の絵をかこう— (22人参加)
5	令和7年10月26日(日)	ギコギコ ペッターダンボールでおぼけのお めんをつくろう— 講師:深谷紗千氏(19人参加)
6	令和7年12月14日(日)	ミニクリスマスツリー・リースをつくろう—ま つぼっくりやドングリを使って— (27人参加)
7	令和8年3月8日(日)	「るるる展」で遊ぼう①(人参加)
8	令和8年3月22日(日)	「るるる展」で遊ぼう②(人参加)

(3) 出前講座

実施日	令和7年6月4日(水)～令和8年2月5日(木) 延べ13日
対 象	鷺塚小学校1年×3回(298人)・2年(98人)、日進小学校6年(46人)・特 別支援学級×2回(30人)、中央小学校特別支援学級(40人)、棚尾小学校3 年(74人)、西端小学校1年(58人)・6年(31人)、東中学校2年(174人) 延べ849人
内 容	<p>・鷺塚小1年(創作) 「絵具に親しもう①(水彩絵具の使い方)」 水と絵具を少量で済ませるエコな方法を紹介。特にパレット、水入れ、ふき んの有効活用を伝えました。</p> <p>「クレヨンでフロッタージュ—身近なものをうつしとろう—」 障子紙にクレヨンで教室内のデコボコしたところをフロッタージュ。それに 絵具を薄く塗ることで、模様ははっきりとします。</p> <p>「うずまきおもちゃをつくろう」 紙皿を渦巻き状に切って、中心にタコ糸を付け、割りばしにつないだおもち ゃをつくりました。最初に渦巻きの型紙をつくることから始め、それを元に 紙皿に渦巻き模様を写し、切り取りました。</p> <p>・鷺塚小2年(鑑賞) 「たっちカードゲーム①」 4～5人グループで、出題者が出したキーワードから、選んだカードを当てる ゲーム。</p> <p>・日進小学校6年(創作) 「水墨画」 側峰と乾筆の技法と題して、それぞれの描き方を紹介し、実際に西端の田畑 の風景を描いてもらいました。</p> <p>・日進小学校 特別支援学級(創作)</p>

	<p>「ぼたぼたアート」 絵具+のりを混ぜ、画面に垂らす遊びの後、自分たちで集めた素材を貼り付ける創作。</p> <p>「まきまき造形」 木の枝や木の棒に毛糸やひもを巻き付けたり組んだりして、楽しい造形物をつくります。</p> <p>・中央小学校 特別支援学級（創作）</p> <p>「木の葉のスタンプ」 木の葉と版画ローラーを使った、面白い版画をつくりました。</p> <p>・棚尾小学校 3年（創作）</p> <p>「のこぎりの扱い方」 のこぎりの形状や扱い方の基本を伝えました。木材をきちんとテープなどで固定することで、安定して切れることや、切るときのポイントの説明をし、実践をしてもらいました。</p> <p>・西端小学校 1年（創作）</p> <p>「油粘土に親しもう」 油粘土の使い方の基本を伝えました。粘土をちぎってお団子にして、それらをパーツにして立体物を自由につくりました。</p> <p>・西端小学校 6年（創作）</p> <p>「西端の歴史」 西端地区の応仁寺や康順寺の歴史について学びました。</p> <p>「和菓子づくり」 地元の和菓子屋さんへ提案する用に、和菓子のレプリカを粘土でつくりました。</p> <p>・東中学校 2年（鑑賞+創作）</p> <p>「水墨画」 美術館所蔵の水墨画を二つ、タブレットにて鑑賞。どのようにして白色を表現しているのかを考えたあと、牛乳を使った白抜き技法の体験をしました。</p>
--	--

(5) 実習生受入れ

実施日	令和7年8月19日（火）～8月23日（土） 5日間
実習生	名古屋造形大学造形学部造形学科映像文学領域4年生はじめ2名
内容	博物館法に則った学芸員としての専門的実務実習を行いました。

(6) 職場体験学習受入れ（市内中学生対象）

実施日	令和7年11月5日（水）～12月11日（木） 延べ7日間
対象	市内中学校2年生（中学校3校） 延べ7人

内 容	印刷物の袋づめ、受付・監視員の仕事体験、ワークショップ等の準備など
-----	-----------------------------------

(7) その他

実施日	令和7年5月19日(月)
場 所	岡崎女子短期大学
講 師	大長悠子(当館学芸員)
内 容	碧南市藤井達吉現代美術館での教育普及活動について(講義)

実施日	令和7年7月3日(木)
対 象	碧南市教育委員会
審査員	大長悠子(当館学芸員)
内 容	碧南海浜水族館写生大会の審査

実施日	令和7年7月6日(日)
対 象	棚尾小学校達吉クラブ 児童12人 大人11人
内 容	創作室にて「製本」体験として自作のノートづくりを行いました。藤井達吉が装丁した夏目漱石著「行人」など美術館所蔵の本や美術館コレクション展「花」を鑑賞しました。

実施日	令和7年7月23日(水)
場 所	図書館中部分館
講 師	稲垣尚人(当館職員)
内 容	図書館夏休み行事「夏休み図書館お絵かき講座 ポスター講座」

実施日	令和7年7月24日(木)
場 所	芸術文化ホール
講 師	豆田誠路(主任学芸員)
内 容	第69回港湾都市協議会総会にて「衣浦港と碧南市 紡いだ歴史」講演

実施日	令和7年7月24日(木)
場 所	こどもプラザららくるにしばた
講 師	稲垣尚人(当館職員)
内 容	ポスター教室

実施日	令和7年11月29日(土)
-----	---------------

対 象	南山大学学芸員養成課程履修生
講 師	大長悠子（当館学芸員）
内 容	南山大学博物館実習見学実習 「碧南市藤井達吉現代美術館の活動概要と展示・学習プログラムについて」

5 保存・修復

(1) 美術館生物生息調査

調査期間	令和7年度 通年
調査場所	美術館全館
調査内容	粘着式トラップによる歩行性虫生息調査
調査結果	展示室及び収蔵庫での生息や発生は現在確認されていません。バックヤードおよび地下増設部分にアリの侵入があり、忌避剤や毒餌等で対応しています。地下倉庫は湿気が強く壁面にカビが生えるため定期的に清掃しています。今後も清潔な環境維持に努めます。

(2) 害虫獣防除作業

調査期間	令和7年12月1日
調査場所	展示室・収蔵庫を除く全館
調査内容	ハンドスプレーヤによる残留噴霧（スミチオン乳剤）、炭酸ガス製剤（ミラクンS）による空間噴霧、エアゾール剤による隙間処理、調査トラップによる鼠族モニタリング調査・予防・駆除
調査結果	1階荷解室および地下事務室にてゴキブリの成幼虫の死骸が確認されました。食品やごみの管理を行い、清浄な環境維持に努めています。

(3) 収蔵庫空気環境モニタリング調査

調査期間	令和8年1月30日、31日、2月14日
調査場所	収蔵庫前室・収蔵庫1・収蔵庫2・収蔵庫3・一時保管庫
調査内容	有機酸・アンモニア検知用パッシブインジケータによる調査 粘着式トラップ及びフェロモントラップによる害虫生息調査、浮遊真菌測定、床・壁面の付着真菌測定
調査結果	調査中。清浄な環境維持に努めています。

(4) 汎用額・マット作成

実施期間	令和7年11月、令和8年2月
対 象	コレクション展および新収蔵品展に出品する藤井達吉資料写真および素

	描のためのマット製作
内 容	額装用ブック式マットを 29 点作成します。

実施期間	令和 7 年 6 月
対 象	藤井達吉《創作染織図案集》、資料写真 2 点
内 容	コレクション展展示のために、1 点ずつマットへ装着し、汎用額へ収納、展示に即した状態にしました。

実施期間	令和 8 年 3 月（予定）
対 象	藤井達吉ほか 30 点
内 容	長期保存に適したアーカイバル保存箱を作成します。

(5) 野外彫刻メンテナンス

実施期間	令和 7 年 12 月
対 象	小田襄《風景の調和》
経 緯	彫刻表面の瓦の損傷や欠落が複数箇所見られ、鑑賞の妨げとなっていたため
内 容	表面を清掃し、割れた瓦を除去、彫刻設置時にあらかじめ用意されていた予備の瓦を接着剤と針金で接続しました。

(6) 収蔵作品燻蒸処理

実施期間	令和 7 年 12 月～2 月
対 象	藤井達吉《草花文銘々盆》、保存木箱
経 緯	木箱より虫屑が認められたため
内 容	空気環境の安定した 3 階前室にて、袋内に作品、木箱、脱酸素剤を共に入れて、2 か月密閉して殺虫します。
判定結果	作品は清掃後、3 階収蔵庫へ保管されています。

(7) 作品等保存修復

実施期間	令和 7 年 6 月
対 象	伊藤廉《洋梨のある室内》

内 容	他館へ貸出するため、脆弱な絵具層を接着させ安定した状態へ修復しました。また額や裏面の清掃も行いました。
-----	---

実施期間	令和7年9月
対 象	藤井達吉《水》《火》(長田三和子・義男コレクション)
内 容	描かれた当時のまくりの状態であった作品を展示できるよう額へ表装しました。

実施期間	令和8年2月
対 象	藤井達吉《自画像》《海》《(ぜんまい)》
内 容	表裏の清掃、表面のカビを除去します。

6 調査研究

企画展図録等刊行・執筆

『永井直勝没後四〇〇年 長田・永井一族』

豆田誠路・加藤有美 編集

『橋口五葉のデザイン世界』

木村理恵子 「橋口五葉の「新板画」の受容」

大野俊治 「作品解説」

『没後100年 富岡鉄斎』(毎日新聞社、2024年4月1日)

作品解説(分担執筆)

「富岡鉄斎の交友—三河大浜の石川三碧との関係から」執筆 豆田誠路

『吉岡弘昭展 哀しみとおかしみを湛えた不思議な魅力』

木本文平 「吉岡弘昭 一画家としての歩み—」

大長悠子 編集、「生命の根源へ—児童画との出会いを通じて」、「章解説」、「コラム」、「略年譜」「主要参考文献」

「わたしと中村正義」(『美術の窓』2024年No.495 12月号特集)

大野俊治 執筆

『秋野不矩と高畑郁子—インドとの邂逅』(浜松市秋野不矩美術館、令和7年1月刊行)

大野俊治 執筆

『生誕100年—中村正義—その熱と渦』(豊橋市美術博物館、令和7年2月刊行)

大野俊治 執筆

【展評】「岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり (豊田市博物館)」

(しんぶん赤旗、令和7年5月16日)

木村理恵子 執筆

【展評】「没後90年 橋本平八展 (三重県立美術館)」

(しんぶん赤旗、令和7年9月9日)

木村理恵子 執筆

【展評】「国際芸術祭「あいち2025」(愛知県美術館ほか)」

(しんぶん赤旗、令和7年10月24日)

木村理恵子 執筆

【展評】「プラカードのために(国立国際美術館)」(しんぶん赤旗、令和8年1月20日)

木村理恵子 執筆

【展評】「中村宏 アナクロニズム(時代錯誤)のその先へ(静岡県立美術館)」

(しんぶん赤旗、令和8年2月20日)

木村理恵子 執筆

7 所蔵作品等貸出

(1) 所蔵作品

貸出作品	中村正義 《題不詳(男)》(寄託)
貸出目的	「生誕100年 中村正義」展出品のため
貸出先	豊橋市美術博物館(令和7年2月22日～3月30日) 平塚市美術館(令和7年4月12日～5月18日) 奈良県立美術館(令和7年5月31日～7月6日)
貸出期間	令和7年2月～7月

貸出作品	脇田和《風(『脇田和 石版画集一鳥』より)》 脇田和《鳥と果器(『脇田和 石版画集一鳥』より)》 脇田和《輪花(『脇田和 石版画集一鳥』より)》 脇田和《古代の鳥(『脇田和 石版画集一鳥』より)》 脇田和《水中の鳥(『脇田和 石版画集一鳥』より)》 脇田和《鳥と彼岸花(『脇田和 石版画集一鳥』より)》 野田哲也《日記 1970年4月27日ニューヨーク》
------	---

	野田哲也《日記 1975年11月12日》 野田哲也《日記 1986年5月7日奈良》 伊藤廉《洋梨のある室内》
貸出目的	「時をかける版画 小磯良平の版画と藝大版画研究会の人々」 展出品のため
貸出先	神戸市立小磯記念美術館
貸出期間	令和7年8月～12月

貸出作品	小林徳三郎《鰯》 小林徳三郎《幸福之図》 眞田久吉《目白風景》
貸出目的	「小林徳三郎」展出品のため
貸出先	東京ステーションギャラリー（令和7年11月22日～令和8年1月18日） ふくやま美術館（令和8年4月11日～6月7日） 岩手県立美術館（令和8年6月20日～8月23日）
貸出期間	令和7年10月～令和8年11月

貸出作品	中西夏之《4つの始まり—2001-Ⅲ》（寄託） 中西夏之《4つの始まり—2001-Ⅳ》（寄託）
貸出目的	「没後10年 中西夏之展」出品のため
貸出先	国立国際美術館（令和8年3月14日～6月14日） 山梨県立美術館（令和8年7月4日～8月23日） セゾン現代美術館（令和8年9月5日～11月3日） 茨城県立近代美術館（令和8年11月12日～令和9年1月17日）
貸出期間	令和8年2月～令和9年1月

(2) 画像

貸出画像	香月泰男《洗濯帰り》 香月泰男《星を観る者》 香月泰男《マドリード》
------	--

	香月泰男 《秋空》 香月泰男 《母子》 香月泰男 《運ぶ人》 香月泰男 《くちなし》
貸出目的	『香月泰男の画業を読み解く—人物・動物・静物・風景、そしてシベリア』に掲載のため
貸出先	山口大学 人文学部 藤川哲教授
使用期間	令和8年10月発刊予定

※令和7年度の観覧者等実績 （令和8年2月28日現在）

観覧者数計：47,891人（企画展：27,935人、常設展：19,277人、共催展等：679人）

教育普及計：2,756人（WS・親子WS 528人、美術館学習 1,379人、出前講座 849人）

令和 8 年度活動計画について

1 企画展

(1) 絵画の時間 —えがく・みせる・つなぐ—

会 期	令和 8 年 4 月 1 日（水）～5 月 10 日（日） 36 日間
概 要	2025 年度に新たに収蔵した作品を中心に、絵画の成立過程から公開・保存に至る一連の営みを多角的に紹介するものです。絵画が生み出され、社会に開かれ、そして受け継がれていく過程を紹介し、絵画の時間を考えます。美術館は「えがく・みせる・つなぐ」という循環を支える知の基盤として、絵画を未来へつなぐ活動を展開しています。

(2) 内間安理・俊子展 色を織り、記憶を紡ぐ

会 期	令和 8 年 6 月 27 日（土）～8 月 30 日（日） 56 日間
共 催	中日新聞社
概 要	日系二世として米国に生まれ「色面織り」と呼ぶ独自の木版技法を深化させた内間安理（1921－2000）と幻想的なアッサンブラージュで知られた妻・俊子（1918－2000）の回顧展。恩地孝四郎や棟方志功、イサム・ノグチら関連作家の作品とともに二人の豊かな創作世界を紹介します。

(3) 小林徳三郎 —詩のような日常宇宙。—

会 期	令和 8 年 9 月 12 日（土）～11 月 8 日（日） 50 日間
共 催	中日新聞社
概 要	大正から昭和にかけて活躍し、多くの文化人から愛された洋画家・小林徳三郎(1884-1949)の初の大回顧展です。約 300 点の作品と資料により、その画業をご紹介します。

(4) 笠井誠一展 —色彩と形態が織りなす造形の世界—

会 期	令和 8 年 11 月 21 日（土）～令和 9 年 1 月 11 日（月・祝） 39 日間
共 催	中日新聞社（予定）
概 要	洗練された独特な構成による“室内画”をめざし、一貫して絵画の普遍性を探求し続けた笠井誠一。本展では、笠井の絵画世界を、時代を追いながら紹介し、その魅力に迫ります。

(5) 称名寺と時宗の宝物展

会 期	令和9年1月23日(土)～2月28日(日) 32日間
概 要	東照山称名寺は、創建が室町時代に遡る時宗寺院で、連歌から徳川家康の幼名「竹千代」の命名を伝える地として知られています。本展では、称名寺に伝わる絵画、書跡、工芸、歴史資料の宝物や時宗に関する資料を一挙にご紹介します。

2 常設展

(1) コレクション展

名 称	会 期 ・ 内 容
第1期	令和8年5月16日(土)～7月20日(日) 43日間 「かわいい生きもの」(展示室4)
第2期	令和8年7月28日(火)～10月4日(日) 50日間 「素描の世界」(展示室4)
第3期	令和8年10月10日(土)～令和9年1月11日(日) 65日間 「藤井達吉と毛利教武」(展示室4)
第4期	令和9年1月23日(土)～4月11日(日) 58日間(年度内48日間) 「春を言祝ぐ」(展示室4)

(2) 文化財・民俗資料展

名 称	会 期 ・ 内 容
第1期	令和8年5月19日(火)～8月9日(日) 碧南の歴史：碧南の寺院探訪～願随寺編～
第2期	令和8年8月15日(土)～11月8日(日) 碧南の歴史：発見！南霞浦遺跡～発掘調査の成果～
第3期	令和8年11月21日(土)～令和9年2月14日(日) 碧南の歴史：指定文化財 貞照院経蔵の修理
第4期	令和9年2月20日(土)～5月16日(日) 民俗資料：昔の暮らし～おさえ瓦の世界～

3 共催展等

(1) 第8回碧南市民アンデパンダン展

会 期	令和8年5月19日(火)～5月31日(日) 12日間
-----	----------------------------

(2) 第7回碧南ビエンナーレ

会 期	令和8年6月9日(火)～6月14日(日) 6日間
-----	--------------------------

(3) 野外彫刻絵画コンテスト入賞作品展 (教育普及関連)

会 期	令和8年11月27日(金)～12月13日(日) 15日間
-----	------------------------------

(4) るるる展 (教育普及関連)

会 期	令和9年2月9日(火)～2月28日(日) 18日間
-----	---------------------------

(5) 第18回碧南文化協会選抜美術展

会 期	令和9年3月6日(土)～3月14日(日) 8日間
-----	--------------------------

(6) HEKINAN から それぞれのスピリッツ展 18th

会 期	令和9年3月20日(土)～3月28日(日) 8日間
-----	---------------------------

4 教育普及

市内小中学生の美術館学習、出前講座、市民の参加できるワークショップや、展覧会内容にふさわしい講演会を開催します。

5 保存

館内の空気環境調査や文化財害虫生息調査を実施し、作品の安定的な管理に努める。重篤な傷みのある作品に対しては順次修復を実施します。

6 調査研究

藤井達吉及び藤井の同時代の美術を中心とした調査、ならびに各企画展実施に向けた調査研究を行います。

7 報告事項

(1) 令和7年度第1回、第2回収集部会の結果について

別添資料参照